

特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミュニティ

～ 活動のご紹介 ～

I 新聞で紹介された
オールしずおかベストコミュニティ

II 写真で見る
オールしずおかベストコミュニティ



— 目 次 —

I 新聞で紹介されたオールしずおかベストコミュニティ

| | |
|--------------------------------|----|
| 原の「つながり」が新たに運営～とも沼津店 | 3 |
| パン祖のパン祭実行委員会に感謝状 | 4 |
| アピタ島田店販売会／県遊技業協同組合に感謝状 | 5 |
| しずおか授産品応援サポーター制度開始 | 6 |
| アピタ浜北店販売会／パティオ袋井店販売会 | 7 |
| パティオ袋井店販売会／松井久悦さん絵画展 | 8 |
| ふじっぴーグッズ販売開始／パルシェ販売会 | 9 |
| ミニカフェしゅうろう 8・25／障がい者雇用セミナー | 10 |
| 魚河岸グッズ焼津の顔に／新春講演会 | 11 |
| 障害者雇用の事例紹介～新春講演会 | 12 |
| 障害者の手作り文具～谷島屋浜松本店販売会 | 13 |
| 障害者ら富士山表現～富士山の絵画展／商談会 | 14 |
| イトーヨーカドー浜松宮竹店販売会 | 15 |
| 自慢の手作り品紹介～ふじのくに商談会 | 16 |
| 福祉事業所の商品紹介～ふじのくに商談会／ららぽーと磐田販売会 | 17 |

II 写真で見るオールしずおかベストコミュニティ

| | |
|------------------------------|----|
| 静岡県授産製品コンクール／障害者芸術祭／ふじのくに商談会 | 18 |
| 授産品販売イベント／部会活動／セミナー・講演会 | 19 |
| 障害者働く幸せ創出センター／とも | 20 |

原の「つながり」が新たに運営

授産品など扱うパレットの「とも」

NPO法人オールしずおかベストコミュニティは、県東部の障害者施設で製造された授産品や自主製品などを販売する「とも」沼津店」を沼津駅南口前のパレット一階



開店セレモニーの中で、カレーを試食しながら店内を見学する招待者ら＝パレット1階で

で開設して三年目になるが、社会福祉法人共生会への委託期間が三月末に終了したことに伴い、原

で就労継続支援A型事業所「つながり」を運営する株式会社つながり（越

後、日替わり定食なども提供し、メニューを増やしていききたいという。施設利用者三人が交代で接客し、職員二人が付く。接客が難しい利用者は、パソコンを使ったメニュー作りなどで協力しているという。

「つながり」は、身体、知的、精神障害などがある十人が利用。請負い業務を中心とした授産作業を行い、洋服の検査や清掃作業などを行っているが、越膳代表取締役によれば、「請負い作業では、お客様に直接会う接客の機会がほとんどない。喫茶店の運営は初めてだが、接客を体験する機会にしたい」として運営を受託したという。

同店では、県東部の福祉施設で扱う自主製品の販売と、飲食を提供する喫茶店を運営。各種飲料をはじめ、カレーや抹茶プリンなどを扱い、「今

開店前のセレモニーで越膳代表取締役は「私達だけでは力が及ばないところもあると思う。皆さんの力を借りながら、楽しく運営していきたい」とあいさつ。

引き続き、来賓や関係者らが順に、「先輩事業所の努力で『とも』の存在も知られてきた。素敵な笑顔のおもてなしを」

「お客様の喜びが障害を持った人達の満足につながれば」などと激励。この後、参加者らは、ジュースで乾杯し、カレーを試食した。

同店では、これまでと同様に、年三回程度の「感謝フェア」を企画し、施設や障害者について情報発信するとともに、企業と施設をつなげる橋渡し役や、障害者を支援する

県東部地区の拠点づくりを目指す。

営業時間は午前十時から午後五時。日・月曜日と祝日は定休。

問い合わせは「とも」沼津店（電話九六三一九一〇〇）。

（平成25年4月9日・沼津朝日新聞）

授産製品販売所を提供

障害者支援 外郭団体 パン祭実行委に感謝状

県障害者支援外郭団体「NPO法人オールしずおかベストコミュニティ」(坂本光司理事長)は24日、福祉事業所利用者の工賃向上に多大な貢献をしたとして、「伊豆の国パン祖のパン祭実行委員会」(杉山大一委員長)に感謝状を贈った。

同団体は障害のある人業、地域をつなぎ、障害の働く笑顔で、福祉と企業者の自立、社会の中で大



鈴木専務(左)から感謝状を受け取る杉山委員長
=伊豆の国市古奈の市観光協会

切な役割を担っていくことなどを支援している。感謝状は同実行委員会が毎年1月に蕪山時代劇場で開催している「パン祖のパン祭」で、パンをはじめとする授産製品の販売所を無償で提供していることなどから贈られた。今年と同市周辺地域

伊豆の国

から5カ所の福祉事業所が参加した。授与式は伊豆の国市古奈の市観光協会会議室で行われ、NPO法人オールしずおかベストコミュニティの鈴木良夫専務から、杉山委員長に感謝状が手渡された。杉山委員長は「今後とも積極的に協力していきたい」と述べた。

(平成25年4月26日・伊豆新聞)

静岡のNPOのパン祭実行委に感謝状

障害のある人たちが働く作業所と、企業や地域を結び活動を行っているNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」(静岡市葵区)は24日、伊豆の国市の「パン祖のパン祭実行委員会」に感謝状を贈った。同NPOなどによる同祭の名物となっているパン即売会への県東部の作業所の出展に同実行委員会

が協力。売上げが各施設の貴重な収入になっていることから、感謝状の贈呈を決めた。杉山委員長は「障害のある方たちに売り場を提供することは大事だと考えている。これからも交流していきたい」と話した。



鈴木専務理事から感謝状を受ける杉山実行委員長(右)=伊豆の国市

(平成25年4月25日・静岡新聞)



障害者就労継続支援5団体

手作り布製品 菓子など販売

きょうまで島田

障害者の就労支援に取り組みNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」は4日、志太榛原地域の作業所の製品を販売するコーナーを島田市宝来町のアピタ島田店1階に設置した。5日まで。

出品したのはワーク 袋やペットボトル入れ、センターコスモス(島田 炭やオリブオイルの石市)やみどりの丘(川根 けん、アクセサリーや雑本町)など、いずれも就 賃などが並ぶ。
労継続支援B型事業所 大井川鉄道のSLをか の5団体。100〜50 たどったサブレや陶製の 0円ほどの値段で、手作 急須や茶飲みなど、作業 りの布製品や日用品、 所がある地域の特色を取 菓子などを販売してい り入れた製品もあり、買 い物客を楽しませている。
丁寧に裁縫された巾着

(平成25年5月5日・静岡新聞)

3団体に750万円寄付 県遊技業 協同組合

県内の約340の「パ」教育委員会と県暴力追 放運動推進センター、 寄付した。同組合の社 員貢献活動の一環。
「県遊技業協同組合」(佐原 県防犯協会連合会の3 内訳は県教委に55 英雄理事長)は6日、県 団体に計750万円を 0万円、暴追センター

と防犯協会にそれぞれ 100万円。総会に先 立ち、静岡市駿河区の ホテルで行われた寄贈 式で、佐原理事長が3 団体の代表に目録を手 渡した。障害者が作っ た製品を店の景品とし て買い取り、自立に寄 与したとして、NPO

法人「オールしずおか コミュニティ」(同市 葵区)から同組合に感 謝状が贈られた。同組 合は毎年3団体に寄付 を続けていて、寄付金 は今回を含めて計92 20万円になった。

(平成25年6月7日・静岡新聞)



障害ある人支援へ一役

授産品購買で応援



障害のある人が手作りした授産品の認知度を高めようと、県は六日「しずおか授産品応援サポーター制度」を始めた。サポーターは授産品を積極的に買い、品質の高さを周りに広める。(高重乃輔)

県がサポーター制度開始

授産品は、食品や工芸品、喫茶店での軽食など。県内では、一般企業で働くことが困難な障害者約四千五百人が、二百六十カ所生産に関わっている。客は製品を買っことで、生産者の賃金上昇に貢献できる。

応援サポーターには、登録カードを配布。その裏面には「しずおか授産品応援宣

食品から工芸品まで多様な授産品を販売する県総合社会福祉会館内の「とも」の店員たち
＝静岡市葵区で

品質の高さを周りに広める

言「の欄があり、「週一回買い物します」などと具体的に書き込む。

登録は、NPO法人オールしずおかベストコミュニティのHPでできる。静岡、浜松、磐田、富士、沼津の各市内では授産品取扱店でも申し込める。

静岡市葵区の県総合社会福祉会館で六日、開始式があり、応援団長に任命された県のマスコット「ふじっぴー」と「ちゃっぴー」が駆けつけた。県健康福祉部の宮城島好史部長は「市場に流通している物と遜色ない授産品の良さを口コミで広めてほしい」とあいさつ。会館内の授産品販売店「とも」で働きながら、生産にも関わる望月良枝さん(金)＝葵区＝は「多くの人に知ってもらって仕事が増えれば、うれしい」と話していた。

(平成25年6月8日・中日新聞)

障害者ら手作り 雑貨やクッキー

きよす 袋井でフェア

障害のある人たちが
作った雑貨やパン、ク

ッキーなどを販売する
「手作り逸品、福
祉応援フェア」が六、
七両日、袋井市上山梨
のパティオ一階フー
ドコート前で開かれ
る。
NPO法人オールし
ずおかベストコミュニ
ティ主催。市内の学
び舎あいまいもこ、ワ
ークスつばさ、なごみ
かぜ工房、すずらん共
同作業所の四施設が参
加する。それぞれの施
設利用者が丁寧に仕上
げた縫製品や日用品、
手芸品なども並ぶ。
両日とも午前十時
午後六時。七日午後一
時から、クラウンの
ジャグリング披露やア
ート風船プレゼントが
ある。

(平成25年7月6日・中日新聞)

障害者ら心込めた
手づくり品を即売
浜北区で「福祉の店」
県西部の障害福祉サ
ービス事業所で働く障
害者たちの手づくり製
品コーナー「福祉の
店」が、浜松市浜北区
貴布祢のアピタ浜北特
設会場で開かれた「写
真。



NPO法人オールし
ずおかベストコミュニ
ティ主催で、浜松市と

袋井市の授産所、共同
作業所など計九施設が
参加。菓子やアクセサ
リ、おもちゃ、日用
品など三百種類以上を
即売した。
売り場には県のイメ
ーシキャラクター「ふ
じっぴー」なども応援
に来場し、子どもたち
の人気を集めた。同N
PO支援部の河島美津
夫さんは「作る人の気
持ちが込められた品々
ばかり」と話してい
た。
(正木徹)

(平成25年6月11日・中日新聞)

手作りの逸品 ずらり 袋井で福祉応援フェア



焼きたてパンなどが並ぶ
会場＝袋井市上山梨で

袋井市内の福祉施設
四作業所合同の物販イ
ベント「手づくり逸
品、福祉応援フェア」
が六日、同市上山梨の
パティオ一階フードコ
ート前で始まった。最
終日の七日は午前十時
午後六時。午後一時
から、ジャグリング披
露やアート風船プレゼ
ントがある。
学び舎あいまいも
こ、ワークスつばさ、
なごみかぜ工房、すず
らん共同作業所が参
加。各施設の利用者が
作った焼きたてのパン
やクッキー、パウンド
ケーキ、野菜、手芸品
などが並んでいる。
障害者支援などをし
ているNPO法人オー
ルしずおかベストコミ
ュニティがパティオの
協力で初めて開いた。
(河野貴子)

(平成25年7月7日・中日新聞)

特別支援学校生の松井さん(菊川)



小学2年当時から作品が並ぶ
—静岡市葵区の「障害者働く幸せ創出センター」

県立葵井特別支援学校御前崎分校高等部1年生の松井久悦さん(15)は「菊川市上平川」の絵画展が8月31日まで、静岡市葵区の「障害者働く幸せ創出センター」で開かれている。

日常風景色鮮やかに

葵区で展覧 ちらし裏に描く

小学2年当時から作品24点が並ぶ。ちらし広告の裏に油性ペンで描くのが松井さんの作品の特徴。黒く太い線で描いた日常の風景を、色鮮やかに塗り上げた作品が中心で、「バスを降りる時ぐらむぼぼ」は登校の練習中に見たバスの座席を描いた。松井さんはこの作品で、全国の障害者を対象にした「ボラコート全国公募展」で入選した。

母親の照子さん(34)は「展示会ではお母さんまな人が思いをこめて書いて帰ってくる。息子が社会の役に立っていると思えてうれしい」と話した。

(平成25年7月19日・静岡新聞)



作業所で作られた製品が並ぶ販売コーナー
—袋井市上山梨

障害者就労支援の作業所が製品販売の袋井のパティオ障害者の就労支援に取り組むNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」は6日、袋井市の作業所の製品を販売するコーナーをパティオ(同市上山梨)に設置した。7日まで。

出品したのは学び舎あいまいもこ、ワークが催される。スツばさ、なごみかせ工房、すずらん共同作業所の4団体。同市内の大型商業施設内で販売会開催は初めてだという。

(平成25年7月7日・静岡新聞)



製品を手にする来場者(左)
—静岡市葵区のJ R静岡駅ビル・パルシェ

**県内作業所製品
28日まで販売会**
葵 区

静岡市葵区のNPO法人オールしずおかベストコミュニティは25日、県内の知的障害者施設の作業所で作られた製品の販売会を、JR静岡駅ビル・パルシェ(同区)1階食彩館で開いた。28日まで。

手作りの製品の魅力を集まった。売り上げはを広く知ってもらおうの全額施設に還元されが目的で、年に3回開いている。今回は11施設から、手ぬぐいやせっけん、クッキーなど約200種類2千点が

集まった。売り上げはの柄でセンスもよかったので買った」と笑顔。タオルを購入した同市駿河区の主婦河野ひとみさん(44)は、「旅行先へのお土産を探していたところ、富士山の柄でセンスもよかったので買った」と笑顔。和子さん(78)も「ささやかだが施設の支援がしたい」と話した。

(平成25年7月26日・静岡新聞)

「ふじっぴー」使えます

県は8日、県のイメージキャラクター「ふじっぴー」イラストの営利目的の使用を許可すると発表した。キャラクターの普及を通じて本県や富士山をアピールする狙いがある。12日から使用許可の申請を受け付ける。

県広報課によると、215種類のふじっぴーのイラストから選んで使用できる。「祝富士山世界遺産登録」「茶の都静岡」など、本県をPRするキャラクターや県の承認番号などの掲載を使用の条件とする。

「くまモン」参考に イラスト215種類から

ふじっぴーは2003年度に本県で開かれた国体のマスコットキャラクターとして00年に誕生した。これまでに営利目的の使用は認められなかったが、使用が自由な熊本県のキャラクター「くまモン」が人気を集めていることなどを参考にした。県庁などで販売する。

一方、ふじっぴーの縫いぐるみやピンバッジ、ストラップなどのグッズの販売も21日から始まる。県内の授産所で製作し、福祉団体と企業をつなぐ静岡市のNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」が静岡空港や県庁などで販売する。



21日から販売予定のふじっぴーの縫いぐるみなどのグッズ

(平成25年8月9日・静岡新聞)

就労諦めず続けて

障害者が体験踏まえ助言

静岡 岡



障害者が仕事の体験談を発表した「ミニカフェしゅうろう8・25」＝静岡市葵区

静岡市で障害者の支援活動に取り組むNPO法人オールしずおかベストコミュニティは25日、障害者の就労を

支援する会「ミニカフェしゅうろう8・25」を同市葵区で開いた。県の委託事業。障害者やその支援者約100人が参加し、仕事に励む各種障害者4人から就労継続のポイントや体験談を聞いた。約1年前に病気を患って身体障害者になった同区の杉山博英さん(51)は回復後の再就職活動で何度も不採用となった経験を語った。現在は事務職に就き、「あせりや不安もあったが、諦めずに続けてほしい」と激励した。杉山さんの長男で知的障害者の克彦さん(21)はドラッグストアでの勤務状況を紹介

し、「職場であいさつを欠かさなかったら、人間関係が良くなっ

た」とこつを伝えた。も助言し、社会人としての心構えや働く意欲や特別支援学校副校長の大切さを説いた。

(平成25年8月27日・静岡新聞)

障害者の雇用理解へ

静岡 岡
28日から 取り組み紹介

NPO法人オールしずおかベストコミュニティ(坂本光司理事長)の「障がい者雇用セミナー」が28日、静岡市葵区呉服町の「5風来館」で始まる。来年3月までの5回シリーズで、NPO法人や企業関係者が現場の事例や先進的な取り組みを紹介する。県の委託事業。

第1回は28日午後1時半から、NPO法人障がい者就業・雇用支援センターの秦政理事長が障害者雇用の基礎知識を講話する。

各回の内容、会場は次の通り。

②福祉事業所の視察(静岡市内) ③坂本理事長の講話(グランシップ) ④レンティック中部浜松工場の視察(浜松市中区) ⑤印章製造販売業・印刷業「大谷」の大谷勝彦会長の講話(5風来館) 申し込み、問い合わせはオールしずおかベストコミュニティ(電話054(2)51)3515)へ。

(平成25年10月26日・静岡新聞)

魚河岸グッズ 焼津の顔に

豪快なカツオの顔がデザインされたトートバッグ、焼津名物・魚河岸マーク入りのランチバッグや、髪留めなどに使うシュシュ。焼津市大覚寺の生活介護施設「虹の家」の利用者が手作りした製品が焼津らしいと評判を呼び、注文が殺到している。丁寧な仕上げで品質も良く、福祉施設の自主製品作りの好例になっている。

(神谷円香)



ミシンを使い製品づくりに励む利用者たち=焼津市大覚寺で



カツオの絵柄が入ったトートバッグなど魚河岸グッズが並ぶホテルの売店=焼津市の焼津ランドホテルで

障害者ら製作、注文殺到

就労が困難な人を支援し、生産活動の機会を提供する虹の家には、ダウン症や知的障害などの十八歳から六十代の三十九人が通い、職員十三人がサポートする。製品作りは縫製班の女性五、六人が担当。職員の助けを借りながら、真剣な表情でミシンをかけていく。布は地元名物「魚河岸シャツ」にも使われる手拭い生地を老舗から仕入れる。施設での直販のほか、市内のホテルや一部の店にも置いているが「生産が追いつかず、在庫が全然ない状態」（職員）。市の成人式で新人に贈る魚河岸かぼんの製作も請け負っており、現在は来年一月に向け千六百枚の生産に追われ、週百枚ペースで製作に励んでいる。

工賃 ↑ やる気も ↑

商品誕生のきっかけは三年前、静岡市のNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」が開いた県産産品コンクール。「焼津らしいものを」と職員が考案したカツオの絵柄の手拭いを使ったバッグが県知事賞に選ばれ、口コミで注文が増えていった。完成品は施設管理者の山梨由紀子さんが一つ一つ点検する。利用者は言葉で思いを表現するのは苦手でも、集中して一つの工程に取り組むのは得意な人が多い。山梨さんは「直線しか縫えなかった人が端から一ミリの曲線を縫ってアップリケを付けられるまでになる。少し上のことに挑戦すると意欲が湧きやる気が出る」と話す。年三回支給される工賃は初め一回五百円だったが、今では六万五千円ほどもろう人も。初めて一万円を超えた時、家族から間違いではと言われた利用者もいるという。オールしずおかベストコミュニティによると、就労に向け訓練する事業所よりも利用者一人当たりの職員数が多く、手厚いサポートができています。施設もある。担当者は「虹の家の取り組みはモデルケース。他の施設もまねしてほしい」と話している。

(平成25年10月28日・中日新聞)

★障害者雇用の事例紹介
障害者支援に取り組むNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」は27日午後1時半から、新春講演会「障がい者雇用先進企業に学ぶ」を静岡市駿河区池田のグランシップで開く。県内の各市町や企業、団体が対象。
同NPO法人の理事長で法政大学院政策創造研究科の坂本光司教授が、障害者雇用企業を含む7千社以上の調査を踏まえて講演する。県の受託事業「障がい者雇用セミナー」の一環。
希望者は同NPO法人へ電054(251)3515に申し込む。

(平成26年1月1日・静岡新聞)

障害者雇用の事例紹介

駿河区 NPO がセミナー

静岡市葵区のNPO「ベストコミュニティ」法人「オールしずおか」は27日、障害者雇用セ



障害者雇用に積極的な企業を紹介する坂本教授
 静岡市駿河区のグランシップ

「オールしずおか」は27日、障害者雇用セミナーを同市駿河区のグランシップで開いた。同NPO法人の理事長で、法政大学院政策創造研究科の坂本光司教授が「障害者雇用先進企業に学ぶ」と題して講演した。坂本教授はこれまでに、障害者を雇用する企業を含む全国の7千社以上を訪問し、調査してきた。その中から、

正社員の約8割が障害者など、積極的に雇用に取り組み出版社やクリーニング店、NPO法人など12の企業、団体を紹介した。障害者雇用の関心の高まりについて、「人の価値観がヒト・カネから心や愛に変化した」「障害者雇用を積極的にしている企業は好業績の傾向がある」などと分析した。また、すぐに雇用できなくても「障害者雇用をしている企業の製品を購入したり、取引したりし

(平成26年1月28日・静岡新聞)

フリーマート

■障がい者雇用の先進企業に学ぶ 障がいのある人の就労支援などに取り組むNPO法人オールしずおかベストコミュニティ（静岡市葵区）は27日午後1時半～3時半、企業経営者らを対象に障がい者雇用セミナー「障がい者雇用先進企業に学ぶ」を駿河区池田のグランシップで開く。参加無料。定員先着250人。坂本光司・同NPO理事長（法政大学院教授）が実際に見てきた先進的な事例を紹介し、これからの雇用の在り方を考える。申し込みはファクスまたはメールで。24日締め切り。問い合わせは事務局、電054(251)3515。

(平成26年1月21日・中日新聞)



「障がい者雇用先進企業に学ぶ」と題する講演会（県主催）が二十七日、静岡市駿河区のグランシップであった。障害者の就労支援に取り組むNPO法人オールしずおかベストコミュニティ理事長の坂本光司法政大学院教授が「障がい者の雇用の問題は、社会の構成員すべての人の問題だ」と訴えた。県内外の会社経営者や福祉関係者ら三百人が来場。坂本

「企業の福祉力 高めて」

障がい者雇用促進 駿河区で講演会
 教授は、障害者雇用率の高い会社の理念や経営者の思いを伝えた。

真つすぐに歩けない障がいのある人がウエーターとして勤務するフレンチレストランを挙げ、配膳中に落とさないうようパンを運ぶ容器の底を深くしている事例を紹介。「できる仕事を経営者がつくり出すことが必要」と強調した。坂本教授は、経済産業省などが後援する「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の提唱者。「企業の産業力も大事だが、福祉力を高めるのは時代の要請だ」と講演を締めくくった。（高重乃輔）

障がい者を雇用する企業の説明をする坂本光司教授「静岡市駿河区のグランシップで

(平成26年1月28日・中日新聞)



温かみのある文具や雑貨が並ぶ「福祉応援フェア」―浜松市中区の谷島屋浜松本店

授産製品を応援！
文具など50種販売
中区でフェア開始
県西部の作業所の授産製品を販売する「福祉応援フェア」（NPO法人オールしずおかベストコミュニティ主催）が1日、浜松市中区のJR浜松駅ビル・メイワン内の谷島屋浜松本店で始まった。28日まで。

施設が文具や雑貨など約50種類を出品した。手すきのノートや帆布のペンケース、ブックカバー、木製のコースター、写真立てなど、温かみのある手作り製品が並ぶ。
フェアは「授産製品の販売機会を増やす」とに少しでも貢献したい」と同店が同NPOに協力して実現したという。

（平成26年2月2日・静岡新聞・浜松版）

障害者の就労支援などをしているNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」が、障害者が手作りした文具を販売する「福祉応援フェア」を浜松市中区のメイワン八階谷島屋浜松本店で開いている。二十八日まで。
浜松市と袋井市の七カ所の障害福祉事業所がノートや筆箱など約八十点を出品している。浜松市のマスコトキャラクター「出世

障害者の手作り文具

中区の
谷島屋
筆箱やノート販売



手作りの筆箱やノートが並ぶ売り場―浜松市中区のメイワン8階谷島屋浜松本店で

障害者の就労支援などをしているNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」が、障害者が手作りした文具を販売する「福祉応援フェア」を浜松市中区のメイワン八階谷島屋浜松本店で開いている。二十八日まで。
浜松市と袋井市の七カ所の障害福祉事業所がノートや筆箱など約八十点を出品している。浜松市のマスコトキャラクター「出世

障害者の賃金に還元される。
NPO法人の河島美津夫さん（左）は「質の高い商品を多くの人にってもらいたい」と話している。
（木許はるみ）

（平成26年2月6日・中日新聞・浜松遠州版）



富士山を描いた絵画などが並ぶ作品展
—静岡市葵区の障害者働く幸せ創出センター

障害者ら富士山表現

葵区 絵画や貼り絵並ぶ

23日の「富士山の日」日まで開かれている。に合わせ、富士山をテーマにした作品展が静岡市葵区の障害者働く幸せ創出センターで28日、

県内の福祉事業所利用

者や特別支援学校の生徒が手掛けた14点が並

ぶ。

県立袋井特別支援学校御前崎分校高等部1年の松井久悦君（16）は、富士山を背景に新幹線の作業用車両「ドクターイエロー」が駆け抜ける様子を描いた絵など4点を出品。県立静岡北特別支援学校高等部の生徒21人は、新聞紙を使った貼り絵で雄大な山容を表現した。

作品はNPO「オールしずおかベストコミュニティ」が呼び掛けて県内各地から集めた。

（平成26年2月8日・静岡新聞）

障害者賃金アップへ 福祉事業所の商談会

福祉事業所の授産製品（ソックス）で入賞した「遠州綿たおるはんかち」（提供写真）



（平成26年2月21日・中日新聞）

27日、グランシップ

静岡県は二十七日、障害のある人たちが働く福祉事業所と企業をつなぐ「ふじのくに商談会2014」（中日新聞東海本社後援）を静岡市駿河区のグランシップで開く。福祉事業所が食品や縫製、木工、雑貨など授産製品の展示を通して販路開拓や工賃の引き上げ

を目指す。参加企業を募集している。

商談会は三回目。障害のある人たちの就労支援などに取り組むNPO法人オールしずおかベストコミュニティ（葵区）が運営を担当する。

県と同NPOによると、県内には福祉事業所が約二百カ所あり、約四千人が働いている。ただ、一般企業のような雇用契約がないため、一人当たりの平均工賃は月約一万四千元（二〇一二年度実績）と少なく、就業者が自立して生活するには程遠い状況だという。

商談会には県内から四十事業所が参加。地区別に製品や事業内容などを紹介するほか、販売ゾーンも設ける。NPOは「福祉事業所を任入れ先として、授産製品を販促品などに活用してほしい」と呼び掛けている。

当日は午前十一時～午後四時。入場無料。問い合わせはオールしずおかベストコミュニティ＝電054（251）3515＝へ。

手作り授産品販売

東区 福祉応援フェア始まる

県西部の福祉事業所が手作り授産品を販売する福祉応援フェアが二十二日、浜松市東区上西町のイトーヨーカドー浜松宮竹店であった。「富士山の日」(二十三日)にちなんで県のマスコットキャラクター「ふじっぴー」も参加した。県主催で、障害福祉事業所と企業を仲介する活動をするNPOオールしずおかベストコミュニティが運営する。十七事業所が参加し、手作りの雑貨やアクセサリー、菓子など約百二十点を販売した。



参加した浜松市北区根洗町の「工房めい」は、クッキーや煎餅などを販売。鈴木秀明所

長は「お客さんがたくさん集まることで販売する機会はあまりないので、これを機に授産品を知ってもらいたい」と話した。二十三日も開かれる。
(長崎高大)

手作りの授産品を販売する会場＝浜松市東区上西町のイトーヨーカドー浜松宮竹店で

(平成26年2月23日・中日新聞)

手作りの作業所製品販売

東区 きょうまで福祉応援フェア



クッキーなど手作りの商品が並ぶ会場＝浜松市東区のイトーヨーカドー浜松宮竹店

障害者の就労を支援するNPO法人「オールしずおかベストコミュニティ」は23日まで、県内の福祉作業所製品の販売会「富士山の日」記念 福祉応援フェアを浜松市東区のイトーヨーカドー浜松宮竹店で開いている。

ひくまの(浜松市北区)、サンサンいわた(磐田市)など県内の全17施設が出品した。遠州織物の縫製品や食品、生活雑貨などぬくもりあふれる手作り商品をそろえたほか、富士山の日にちなみ、県のマスコットキャラクター「ふじっぴー」のグッズも準備した。

同NPOの河嶋美津

「ぜひ見てほしい」と来場を呼び掛ける。

(平成26年2月23日・静岡新聞)

自慢の手作り品紹介

福祉事業所、企業と商談

静岡

視覚障害者が利用するNPO法人「六星・ウイズ」(浜松市東区)の職員岩本賢さん(41)は商談会を「自分たちから売り込める貴重な場」と位置づけた。

県は27日、県内の福祉事業所が自主製品を企業にPRする「ふじのくに商談会」(静岡新聞社・静岡放送後援)を静岡市駿河区のグランシップで開いた。

40の事業所が手芸品やパンなど自慢の品を紹介した。小売業など50以上の

企業が参加した。企業の担当者は天竜杉を使ったコースター、ニット製品、クッキーなど、各事業所手作りの製品を吟味した。自主製品は雑貨店や食料品店などで売られるほか、企業の記念品や宣伝材料として使われている。商談会は、営業活動



福祉事業所の職員らが自主製品をPRした商談会
＝静岡市駿河区のグランシップ

(平成26年2月28日・静岡新聞)

福祉事業所の商品紹介

駿河区 企業、自治体と商談会



授産製品を紹介する福祉事業所の関係者＝静岡市駿河区のグランシップで

県内の障害福祉事業所の商品を企業や自治体に紹介する「ふじのくに商談会」（中日新聞東海本社後援）が二十七日、静岡市駿河区のグランシップであった。静岡市葵区のNPO法人オールしずおかベストコミュニティが企画し、四十事業所の食品、縫製品、木工、雑貨などが展示された。同NPOによると、県内には約二百の福祉事業所があり、約四千五百人が働いている。一般企業のような雇用契約はなく、一人当たりの平均工賃は月額約一万四千円弱と少ない。出展の事業所の担

当者は「少しでも工賃アップを」と販路開拓に懸命だった。
(立浪基博)

(平成26年3月1日・中日新聞)



会場に並ぶ障害者が作った製品＝磐田市の「ららぽーと磐田」で

施設利用者手作りせつけんや巾着袋
磐田で販売会
障害のある人たちが作った製品の販売会が一日、磐田市の大型商業施設「ららぽーと磐田」一階東広場で始まった。二日間で、障害のある人の工賃

向上を目指すNPO法人オールしずおかベストコミュニティ（浜松市中区、坂本光司理事長）主催で、浜松市東区や磐田市の知的障害者施設で作られた手作りせつけんやクッキー（いずれも百円）、巾着袋（二百円から）など百種類ほどの製品が並ぶ。同NPO支援部の杉村光弘課長は「施設利用者が心を込めて作った製品で、施設や利用者への理解を深めてもらえれば」と話していた。

(平成26年3月2日・中日新聞)

Ⅱ 写真で見るオールしずおかベストコミュニティ

■静岡県授産製品コンクール（平成25年11月8日・障害者働く幸せ創出センター）



専門家や消費者による審査で優れた授産製品を表彰。障がいのある人のものづくりを応援します。

■障害者芸術祭（平成25年11月24日・障害者働く幸せ創出センター）



障がいのある人の「スゴ技体験」を一般の人にも体験してもらうことで、障がいのある人のものづくりの力をPRします。

■ふじのくに商談会（平成26年2月27日・グランシップ）



福祉事業所で作られる製品の展示・商談会。企業と福祉の橋渡しをします。

Ⅱ 写真で見るオールしずおかベストコミュニティ

■授産品販売イベント企画



アピタ浜北店・福祉のお店販売会



富士山こどもの国・販売会

大型商業施設やイベント会場での授産品販売を企画・サポートし、障がいのある人の工賃向上を目指します。

■部会活動



木工小部会 活動の様子



下請小部会 草刈り作業の視察

様々な部会を設置し、会員で構成された部会員による研究や意見交換を通して、研鑽を積んでいきます。

■セミナー・講演会



障がい者雇用セミナー第5回



障がい者雇用セミナー第3回・新春講演会

企業や福祉事業所向けの各種セミナー・視察研修・講演会を企画運営。

II 写真で見るオールしずおかベストコミュニティ

■障害者働く幸せ創出センター（静岡市葵区呉服町 2-1-5 「5 風来館」 4 階）



授産製品コンクール受賞製品展示



交流イベントスペース

障がいのある人の雇用や就労に関するご相談、会議室の提供や、授産製品の展示などの PR 活動を行っています。

■福祉のお店「とも」



とも静岡店
(静岡市葵区駿府町 1-70 シズウエル 1 階)



とも沼津店
(沼津市大手町 1-1-3 沼津商連会館 1 階)

静岡県内各地の授産品を多数販売。障がいのある人の工賃向上を目指すとともに授産品の PR を行います。

特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミュニティ

事務局

〒420-0031 静岡県静岡市葵区呉服町 2-1-5 「5 風来館」 4 階

TEL 054-251-3515 FAX 054-251-3516

Mail info@all-shizuoka.or.jp

公式 HP <http://www.all-shizuoka.or.jp>

